

脳神経外科 医療機器のご紹介

当科では、安全な血管内治療を施行するため、最新の医療機器を使用し、治療に当たっています。今回、採用している機器をご紹介します。



頭腹部用血管撮影装置 PHILIPS Azurion7 B20/15

血管の画像診断及びカテーテルによる血管内治療に使用します。従来機種より放射線被曝の低減がなされているだけでなく、2方向から同時に撮影することが可能であり、使用する造影剤も減少させることができるため、安心して検査を受けていただけます。従来CTでしか得ることができなかった断層画像や3次元画像の撮影も可能になり、複雑な血管の走行も短時間で確実に把握できるようになったため、より正確な診断を行うことが可能となっています。



手術用顕微鏡 Leica M530 OHX

2020年に手術用顕微鏡をライカ社製の新型の顕微鏡に更新しました。術野がより明るく、鮮明になり、さらに精度の高い治療が可能であるほか、顕微鏡の可動性が高まり、術者の負担が軽減されます。手術中に血流等を確認できる蛍光撮影装置等の様々な機能も内蔵されており、手術の効率性、安全性が向上しています。



ブレインラボ ナビゲーションシステム

手術用顕微鏡更新と同時に、手術支援用のナビゲーションシステムを導入しています。ナビゲーションシステムは、術前に行ったMRIやCT画像を読み込むことにより、手術中に現在の作業部位や、病変の位置を正確に知ることが出来ます。位置の正確な把握によって、より確実な手術が可能となり、手術の開創が小さく済む、正常部の損傷を防ぐ等、安全性がより高まります。